

二中だより

国立二中ホームページにも掲載：国立第二中学校へアクセス

令和8(2026)年4月15日
国立市立国立第二中学校
校長 黒田 宏一
国立市富士見台3-30
電話 572-2187

「学校の主役は、生徒！」の1年に!!

校長 黒田 宏一

笑顔と希望の溢れる令和8(2026)年度の国立二中の新たな1年が出発いたしました。9日に行われた第69回入学式で186名の新入生を迎え、全学年合わせて552名でのスタートです。始業式で「挑戦と成長の年に！」と話しましたが、この1年でどのように生徒の皆さんが成長するのか今から楽しみです。

13日(月)には「学校生活オリエンテーション」が開催されましたが、楽しみなのは毎年恒例の生徒会役員を中心とした2、3年生による学校生活を充実させるための寸劇を交えた説明です。授業ではグループワークが多く取り入れられるが「話し合いのルール」や「いりたまご(意見・理由・体験・まとめ・誤字脱字)」を意識して発表すること、二中で大事にしている「共学・共助・共生」の捉え方、校則検討、カジュアルデー等々について、ユーモアたっぷりに披露してくれ、1年生も身を乗り出して見入っていました。その中ですべての役員で大きな声で合わせ伝えてくれるのが『学校の主役は、生徒!』とのひと言です。叫びにも似たこの言葉が、生徒一人一人実感できるような1年となることを心から願っております。

そのための令和8(2026)年度の学校経営の重点をお示しします。「主体的に学び物事に取り組む力」を育むために、認知能力とともに非認知能力の育成を図るとともに、互いを尊重し高め合い、そして居心地の良い学校風土の向上をめざしてまいります。また、本年度よりコミュニティスクールが始まりますが、保護者・地域の皆様と連携を図りながら、皆様と力を合わせて生徒のより良い成長を支援してまいりますので、一層の皆様の御支援を賜りますようお願い申し上げます。

1. 令和8年(2026)年度の重点目標

共に学び、共に助け合い、共に生きる

「共学」「共助」「共生」の国立二中

2. 指導の柱(重点)

(1) 主体的な学びを高める学習指導(共に学ぶ「共学」)

- ①全教職員の英知と創意工夫を結集し、主体的に学習に取り組む生徒、共に学ぼうとする生徒の育成をめざし、生徒の自己肯定感を醸成する。
- ②学びの質を高めるため、授業改善を推進し、「基礎的な知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力」を育成し、生徒の「学びを活用する力」(学び方を学ぶ)の伸長を図る。
- ③GIGAスクール構想に基づき整備されたICT環境により、教育用タブレットの効果的活用について積極的に推進する。

(2) 規範意識を高め、互いを尊重する生活指導(共に助け合う「共助」)

- ①率先して全教職員が、生徒の模範となる行動・教育活動の実践を行う。
- ②生徒一人一人に寄り添い、生徒が安心して生活できる(居心地の良い)場を作る。
- ③特別の教科「道徳」の授業を要として教育活動全般を通じて心の教育の充実に努め、「感謝・思いやりの心、共助の精神」を育み、共に助け合う生徒の育成をめざす。

(3) 互いを認め合う特別活動(共に生きる「共生」)

- ①限られた時間の中で、生徒が主体となって活動する学校行事、生徒会活動の充実を図り、生徒の「自分たちの学校」との意識を高める。
- ②全教員が力を合わせ学級経営、学年経営の充実を図り、温かな人間関係を構築する。
- ③教育活動の一環としての部活動等を通して、自主的・自律的運営力の育成を図る。

(4) 特別支援教育の充実(共に生きる「共生」)

- ①特別支援学級「A組」の円滑な運営と「交流及び共同学習」の推進
- ②特別支援教室「かがやき」の円滑な運営と全教員の連携強化
- ③「一人一人がその子らしくいられる教育」の実現に向けた、適切な支援の充実



お知らせ 学校・家庭間連絡システム「すぐーる」の登録について

保護者から学校への欠席・遅刻の連絡だけでなく、学校からのお知らせや、緊急連絡等を送信しますので、まだ未登録の方は登録して下さるようお願いいたします。学校に在籍中は、一度登録することで年次更新されます。4月14日（火）より、遅刻・欠席の連絡は、「すぐーる」の送信でお願いしております。